

平成29年度府中町まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録

- 1 日 時 平成29年9月29日（金）
午前10時00分～午前11時37分
- 2 場 所 安芸府中生涯学習センター
くすのきプラザ 2階 研修室
- 3 出席委員 （9人）
座 長 上之園 公 子【学】
委 員 基 丸 勝 子【産】
委 員 木 村 洋【官】
委 員 岡 嶋 学【金】
委 員 寺 戸 裕 司【労】
委 員 益 村 泉月珠【言】
委 員 新 宅 祐 也【住】
委 員 松 本 真奈美【住】
委 員 森 岡 小津恵【住】
- 4 欠席委員 （0人）
- 5 議事次第 1) 開会
2) 町長あいさつ
3) 委員紹介
4) 座長の選出について
5) 総合戦略の平成28年度末時点の検証について
6) 閉会
- 6 町出席者 町 長 佐 藤 信 治
副町長 岡 野 浩 子
教育長 高 杉 良 知
(事務局) 企画財政部長 高 石 寛 智
企画財政部次長 増 田 康 洋
企画課主幹 大 神 規 正
企画課計画係長 松 岡 慎 二
- 7 傍聴者数 10人

8 議事の内容

(午前10時00分開会)

1) 開会

○企画財政部長

定刻となりましたので府中町まち・ひと・しごと創生有識者会議を開会いたします。

本日は9名の委員のうち、お一人から少し遅れる旨の連絡が入っておりますので、現時点で8名のご出席ですが、はじめさせていただきます。

本日の議事進行につきましては、これまでの方式を改めまして、委員の中から座長を選出していただきまして、選出された座長にお願いしたいと思います。

座長選出までを事務局側で進めさせていただきますので、そこからの議事進行は座長の方をお願いいたします。

2) 町長あいさつ

○企画財政部長

はじめに、開会にあたりまして佐藤町長よりご挨拶を申し上げます。

○町長

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、当会議委員へ就任、並びに本日の会議へのご出席を賜り、誠にありがとうございます。

さて、ご承知のとおり、全国的に進む少子高齢化に的確に対応した人口減少対策や東京一極集中是正などを国全体で進めるべく、国は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生を推進しております。

当町においても、平成27年度に当町版の「総合戦略」を策定し、「子育て世代が居住を選択するまち」の実現に向けて日々努力しているところでございますが、策定から2年を経過し、確かな成果を達成することが肝要であると考えております。

この後担当より、平成28年度末の総合戦略の検証結果などをご報告させていただきます、委員の皆様からのご意見、ご提案をいただきたいと考えております。

今後とも人口5万人を維持し、「次世代へ元気をつなげるまちづくり」を進めて参りたいと考えておりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

3) 委員紹介

○企画財政部長

委員の任期切れに伴いまして、8月に委員委嘱を行っておりますので、本日がこのメンバーではじめての会議となります。委員名簿の順にて紹介

させていただきますので、簡単に自己紹介をお願いいたします。

○墓丸委員

府中町商工会から参りました副会長の墓丸と申します。よろしくお願いいたします。

○木村委員

広島県庁地域力創造課の木村と申します。市町の地方創生のサポートなどをさせていただいております。よろしくお願いいたします。

○上之園委員

上之園と申します。比治山大学で主に教員養成を担当しております。よろしくお願いいたします。

○岡嶋委員

安芸府中金融懇談会から参りました、広島銀行安芸府中支店、支店長の岡嶋と申します。地方創生は金融機関でもキーワードとなっており、何かお役に立てればと考えております。よろしくお願いいたします。

○寺戸委員

連合広島の広島地域協議会から参りました、マツダ労働組合書記長をしております寺戸と申します。よろしくお願いいたします。

○益村委員

広島テレビから参りました益村と申します。子育て支援、子育て応援団のプロジェクトを担当しております。また、ICTを活用した感染症予防の取り組みを行っております。よろしくお願いいたします。

○松本委員

この度、中部民生委員、主任児童委員ということで受けさせていただきました。よろしくお願いいたします。

○森岡委員

子育てサークルわっふるの代表をしております森岡と申します。また、NPO法人ママの働き方応援隊に所属しておりまして、「赤ちゃん先生」という赤ちゃんと一緒に小中高等学校や高齢者施設等を訪問して授業を行うプログラムに参加をしております。本日は子育て世代を代表してこのような貴重な場にいられることを嬉しく思います。よろしくお願いいたします。

○企画財政部長

町出席者の紹介（町長・副町長・教育長紹介）

4) 座長の選出について

○企画財政部長

それでは続いて座長の選出にまいります。座長は、委員の中から選出をお願いしたいと思いますが、どなたかご意見がございましたらお願いいたします。

○岡嶋委員

座長は学識経験者の上之園委員にお願いできればと思うのですが、いかがでしょうか。

○企画財政部長

ただいま、岡嶋委員から上之園委員を座長に推薦するご提案がありましたが、いかがでしょうか。

(各委員、拍手にて賛同)

○企画財政部長

それでは、上之園委員に座長をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○座長（上之園委員）

進行しかできませんが、よろしくお願いいたします。

○企画財政部長

それでは、ここからは座長に議事の進行をお願いしたいと思います。

(進行役交代)

5) 総合戦略の平成28年度末時点の検証について

○座長（上之園委員）

それでは、総合戦略の平成28年度末時点の検証について聞きたいと思います。

今回は5年の計画期間の中間報告ということで、この会議で何かを決めていくというよりは、報告をうかがいながら何か改善点などの意見があれば申し上げるということになろうかと思いますので、委員の皆様そのような意識で報告をお聞きしましょう。それではお願いいたします。

○企画課主幹

総合戦略の概要について説明

資料1「総合戦略の平成28年度末時点の検証について」説明

○企画課計画係長

資料2「転入・転出理由の推移について」説明

○座長（上之園委員）

ありがとうございました。何かご質問などありますでしょうか。

○森岡委員

「ふちゅうに府中町」というPRは、具体的にどこに向けてこういったアピールをされているのでしょうか。

○企画財政部長

町外向けであり、主に広島都市圏に向けたものとなっています。

○森岡委員

2年前に近畿圏から引っ越してくる際、不動産会社からは安佐南区を勧

められました。結果的に府中町に住んでいた友人からの口コミで府中町を選んだのですが、住んでみると利便性も良く、住み心地もよいのもったいないなという気持ちがあり、府中町のPRがどこまでいっているのか疑問に思って質問させていただきました。

都市圏から来る人は電車通勤に慣れており、バス通勤は時間が読めないと感じているため、アストラムラインに魅力を感じて沿線の安佐南区、中筋あたりが人気ようですが、府中町に住んでバス利用に慣れると何も問題はないので、そのあたりもうまく発信してはどうかと思いました。

○座長（上之園委員）

県外から府中町に入られた方が感じられることで、特に情報発信ということでご意見をいただきました。

ご紹介が遅くなりましたが、委員が遅れて来られましたので、簡単に自己紹介と、どういう視点からでも結構ですので、何かご意見等ありましたらお願いいたします。

○新宅委員

遅れて申し訳ありません。児童センターハッピーズのセンター長をしております新宅と申します。よろしくお願いいたします。

広報ということに関してですが、児童センターには、土・日、平日を問わず多くの利用者が来られますが、廿日市や西条といった町外遠方からも多数の利用者が来られます。このような施設が町内に2箇所もある府中町は子育てにやさしいまちだということで羨ましがられる傾向にあります。そういった子育てにやさしいということを全面的にアピールすることは重要だと思います。

○座長（上之園委員）

町外からの利用者は、どういうきっかけで来られたのでしょうか。

○新宅委員

口コミもあるようですが、インターネットを見て来られた方も多いようです。「府中町 遊び場」と検索すると、多くの個人ブログに掲載していただいており、それを見て来られることが多いようです。

○座長（上之園委員）

キーワードで検索するとヒットしたということで、これもヒントになりそうですね。情報発信ということについて何かありますでしょうか。

○益村委員

現在の府中町の発信の内容を見させていただくと、少し漠然としている面があるように感じています。また、お母さん世代はブログやSNSをよく使われていますので、ウェブサイト以外でも具体的な魅力の情報発信をすると届きやすいのではないかと思います。

保育園の取材で園長先生からお聞きした話ですが、朝夕の忙しい時間帯

に、サポート役のおばあちゃん先生を追加配置する取り組みをされている
そうでした。保育士の目が届きやすくなるだけでなく、幅広い年齢層の先
生がいることは園児にとってもよいことであり、このようなことがうまく
発信されていないことはもったいないと思われれます。

○座長（上之園委員）

よい取り組みをしている中身について具体的に発信を、ということですね。

○松本委員

P T Aなどで学校に行く機会が多いのですが、先生方は勉強の遅れている
子どもへの補習やクラブ担任などもあって多忙で、これからは経験のある
地域の人が学校に入ってサポートしていくことも必要だと感じています。
そういった中で、放課後子ども教室はすばらしい活動で、歌や作法、英語、
工作などを教えてもらえる。大学生ボランティアなどによる活動は府中町
ならではのよいところだと思います。ボランティアが少ないために受入れ
人数を制限しているので、拡充してほしいと思います。

○座長（上之園委員）

ボランティアに関しては、完全なボランティアなのか少し報酬等がある
のか、どうなのでしょう。

○教育長

放課後子ども教室は、ボランティアの方に助けていただいて運営できて
います。しかし、ボランティアの方が十分に集まらないのも実情で、参加
する子どもに定員を設けなければならず、参加希望の子どもの75%しか
受入れできていないような状況です。

特に大学生ボランティアは子どもたちに人気で、ボランティアは基本的
に無償であるため、せめてお弁当や交通費など、何か考えていかなければ
ならないと感じています。

○座長（上之園委員）

今のところは無償ということですね。大学生ボランティアを出す側とし
ては、たくさん出せるように頑張らなければなりませんね。

大学生ボランティアは、学ばせていただく場でもあるので、無償であっ
ても頑張っていかなければならないところだと思います。保険等はかけてい
ただく必要があらうかとは思っています。

○教育長

先ほどの説明を補足させていただきますと、ボランティアは完全に無償
というわけではなく、一般的なアルバイト時給の半分程度ですがお礼はお
支払いしています。

○座長（上之園委員）

孫育ての件もですが、そこが少しお小遣いになれば、というところでは

ね。

○企画課主幹

当町で実施している孫育ての件ですが、いろいろ条件はございますが、児童1人につき月額1万5千円の手当てを支給しております。

○座長（上之園委員）

全く違うお立場の方もいらっしゃいますので、別の視点でご質問等ございますか。

○木村委員

出生率は改善しているが、人口置換水準の2.07には不足しているので、府中町が人口5万人を維持するために戦略的に行うべきは子育て世代を増やしていくということが施策の柱だと思います。

転入転出のデータでは、子育て世代の転入が多く、府中町の子育て施策などがある程度評価されていると見ることもできますが、PRという意味ではどうなのか、というのは先ほどのお話であると思います。

私も結婚したとき最初に住んだのは宮の町でして、府中町は子育てにはよいところだと思いますし、そう感じられておられる方は多いと思います。

一方で、府中町に婚姻関係で転入された方、恐らく最初は賃貸住宅に住んで子育てをされ、いざ住宅を購入されようとする府中町を出て行かれている方も多いようです。

府中町はかなり宅地開発が進んでいて、新規開発は難しい。そうすると、既存住宅のリノベーション等の方向に力を入れ、せっかく府中町に入ってきた方々がそのまま府中町に住み続けられるようになればと思います。

私は関東圏からの定住促進の仕事もしておりますが、移住を希望される若い方は、田舎や都市中心への移住を希望されるわけではなく、都市近郊への移住を希望され、子育て環境を重視されます。それが先ほどの安佐南区か府中町か、というお話にも繋がると思います。

そこで、何をどうやってPRするかということですが、キャッチフレーズも大切ですが、子育てのサービスレベルをファクトできちんと示していくことが大切だと思います。私のまちでは何々がこれぐらいの率で、これぐらいあって、それは他と比べるとどれぐらい高いというところが見せれるというのが、現実的には訴求力が高いというか、事実でこうなんだということが分かるし、そこに少し生の声を乗せてくるというのをすべきだと思います。

そこで、事実をどういう切り口でアピールしていくかというときに、例えば、「子育てしやすいまちランキング」というようなものがあって、関東圏や東京の中でどうなのかということをやっていて、例えば共働きしやすいかなど、点数評価をされています。例えば認可園に入りたい人が入っているかとか、認可園の定員増に力を入れているかというようなところがあっ

て、これを点数化しています。

関東圏でのポイントなので、これを府中町、広島県の中でどう評価するかというのはありますが、例えばファミリーサポートセンターの充実度であったり、病児保育は預けやすいかとか、未就学児のいる世帯へのサービス、婚活とか、こういった項目ごとに、府中町はこれくらいで、他と比べるとこれくらいで、関東と比べるとこれくらい、ということで出されて、だから私のまちはこうなんですという言い方をされるとPR力が違うし、府中町はそのファクトの部分が高いので、そこで勝負されてはどうかと思います。

○座長（上之園委員）

目に見える指標でアピールをということと、府中町は住みたいまちだけど、ずっと住み続けることができるまちになるかどうかということですね。

○森岡委員

住み続けるまちについては、主人が転勤族なのでどうかと思うのですが、転勤族は持家願望がなく、私も今賃貸に住んでいます。子どもが増えてくると、広い一戸建ての賃貸に住みたくなると思うのですが、府中町では数が少なく、あっても家賃が高い。空き家の賃貸活用ができればよいと思います。持家にこだわらず、賃貸でよいと考えている人も多いと思います。できれば戸建ての賃貸がもう少しあったらいいなと、そのために空き家があるんだったらそこを活用していいなと思います。

○木村委員

田舎も含めて移住を考えるときには住宅の選択肢は非常に重要で、田舎では売り物件が多いことで移住のハードルがあがっています。

ステップで言うと、まずは賃貸で、転勤の方、結婚して、子育てをはじめられる方向けの物をつくっていく、そして定住というときには次のステップとしてどういうものを供給するのかというように、しっかりとターゲットを絞ってやらないとあまり意味がないと思います。

転勤で来られる方には、単身赴任ではなく、是非ご家族で来ていただきたいと思っています。そして、1回来て広島がよいところだと感じていただけたら、また帰ってきていただきたいと思いますし、まわりの方に広島をPRしていただきたいと思っています。

○座長（上之園委員）

どういったレベルを対象とするのか、戦略が大切ということですね。住居のことでも違う視点でも構いませんが、他に何かございませんか。

○臺丸委員

転勤して来られる方など、賃貸住宅のご相談がよくありますが、やはりアパート、マンションが主体となります。一戸建ての賃貸となると少なくとも7～8万円くらい出さないとありませんし、物件数自体が非常に少な

い状態です。また、府中町は広島駅にも近く便利なので、賃料が高い傾向があります。

しかし、府中町には大手企業や協力会社の方が多く、他の市町に比べるとあまり困窮されている方はおられないようにお見受けします。

○寺戸委員

参考までに資料1の子育て世代の転入出差のところで、平成28年に大幅に減少していることについて、何か言えることはありますか。

○座長（上之園委員）

それでは担当の方からお願いいたします。

○企画課主幹

住宅の供給というところで前年度を含めてマンション等に着目して調べてみましたが、要因の具体的な特定には至りませんでした。

○寺戸委員

企業目で見ると、大きな変化、今もまた不安定要素がたくさんありますが、10年20年の間には、自動車とかは環境が変われば、それがまた変動要素になってくると思いますので、長期的な視点で見ていく必要があるのかなと思います。

人口減少に歯止めをかける、働き方改革と言われますが、減るということは一人ひとりの負担が増えるということでもありますので、一人ひとりというよりも、チームや組織で何か考えていかなければならない、大きな視野で考えていかなければいけないというのが感想です。

○座長（上之園委員）

府中町は、転出入も含めて、働き方というのはすごくリンクするんだろうと思います。

○岡嶋委員

先ほどの、居住地に安佐南区を勧められるというのは、土地があって新しくハウスメーカーさんが建てているからで、そちらへ誘導されているのだと思います。府中町の場合は昔からあるまちで、ロードサイドで出店したくても土地がない、土地が高いということがあります。

既に住まれている方、高齢者が多く住まれているところに若い方が入っていくような、うまく循環させていくということが重要で、それができればまちの活性化になると思われます。

安佐南区はアストラムラインが通って栄えてきたまちで、町並み、建物も新しくて綺麗。それに対して府中町が汚いという訳ではないですが、新しい家と以前からある家とは見た感じが明らかに違うので、そのあたりもうまく循環させてやればよいのではないかと感じています。

府中町が住みやすい、子育てしやすいということはよく聞くので、それらを改善すれば活性化すると思います。ただ、さらに人気が高くなるとい

うことは、土地の値段や家賃も一層高くなるということですのでバランスが大切かと思います。

○森岡委員

私の場合、安佐南区ではなく府中町を選択したのは、友人からの口添えがあったからで、そういった生の声もあるとよいと思います。

また、主人が大のカープファンということもあり、マツダスタジアムに近いということも理由となりました。

○岡嶋委員

確かに、マツダスタジアムに近いということはPRポイントですよ。

○座長（上之園委員）

家族連れもよく見かけますので、そういう発信もよいかもしれませんね。

○益村委員

木村委員から数値化のお話がありましたが、マツダスタジアムへの距離、自転車での所要時間などは、まさに数値化して示すことができるものだと思います。

また、資料1の3ページのKPI、⑨子どもの感染症予防の推進のところで、平成28年度はおたふくかぜの予防接種を1,381件行い、町内発症件数は前年度比で減となっていますが、実は2016年は全国におたふくかぜが流行したため、全国的には例年の倍くらいの発症件数だったので、その中で府中町は発症件数が減ったということは、予防接種によるよい影響であり、効果が数値的に明確に出せるのではないかと思います。

子どもたちを健康にするというPRにもなりますし、効果のイメージを掴みやすくするために、そういった国で公表されている数値などと比較することも大切だと思います。

○座長（上之園委員）

数値を見たときに、専門の人から見ればすごいことだと分かるのだけど、一般の人から見るとよく分からないということにならないように、例えば全国平均値等と比べて明確化するということですね。

その数値がよい値であるということの見せ方や、他ではやってないことだというアピールの仕方も重要であると思います。

○森岡委員

資料1の3ページ目、④放課後児童クラブの充実の具体的な取組内容のところで、順次時間帯や対象学年の拡充とありますが、現在は終わりの時間が6時か6時半だと思いますが、小学生のお子さんをお持ちの方からは、間に合わないで時間を30分延ばしてほしいということをよく聞きます。

もうひとつ、⑥質の高い教育の提供とは具体的に何を指すのでしょうか。

○教育長

放課後児童クラブの30分延長については、できるだけことは考えて

いきたいと思います。

質の高い教育については、府中町では教育基本計画というものを立てて、その中でいろいろとお示しをしており、グローバル教育なども実施しております。質の高い教育とは何かというと、学校として一番大きい柱は授業改善ということになります。

○木村委員

府中町の総合戦略は県内23市町の中でも極めて戦略性が高く、子育てに特化しています。まち・ひと・しごと総合戦略でこれほど分野を絞ってよいのかというほど特徴的です。しかし、戦略の基本は捨てることとも言えるので、これはこれで非常に戦略性が高いと思っています。

府中町の総合戦略の目標は人口維持であり、子育て世代の方にたくさん転入していただくには、その方々にしっかりPRすることが大切で、現状分析では広島都市圏から子育て世代の転入が多いということが分かっている。そうすると、その人たちに向けて、子育てしやすいということをファクトで示してPRをすることが重要であると思います。

現在のKPIは中学生のことなども書かれており、それはそれでよいことなのですが、まずは入ってくる人を獲得するために重要なものは何なのかを見る必要があるでしょう。つまり、これから子育てをしようという人が何を重要視するのかということであり、関連するKPIは何なのかを見極めるということです。これから子育てをしようという人にとっては、中学生のことよりも、例えばベビーカーに関連したことの方が重要かもしれません。

転入してしばらくすると、次のレベルで保育や教育の質を求めるようになるのだと思います。これはあまり外に向けて言う必要はないのかもしれませんが。さらに子どもが大きくなると、進学などで大都市圏に出て行く。進学などに伴う大都市圏への転出を止めることは難しいでしょうが、残った夫婦が住宅事情などで町外に出て行くようなことにならないためにはどうすればよいのか。

住んでもらうときや、住み続けてもらうために重要度が高いものと、そうでないものが現在のKPIには混在しているように思われますので、しっかり仕分けをしてもらって、優先順位が高いものに注力していただくと点検評価のレベルはすごくあがってくると思います。

○座長（上之園委員）

KPIはとても重要ではあるのですが、年単位の多少の増減で見るよりも計画期間全体の5年間で見たほうがよいこともあろうかと思います。

ただ、次期計画を策定されるのであれば、KPIや施策の内容については、来年か再来年あたりで有効性を探っていかなければならないでしょう。

私は教育関係の仕事をしていますので、他県から転勤で来られる方に、

どこの校区に居を構えたらよいかという相談を受けることがあります、府中町をお勧めしています。

安佐南区は学生が住むような賃貸も沢山あって、ベッドタウンという感じですが、府中町はホームタウンという感じがしています。府中町の学校で、コミュニティー学校の勉強会に参加したことがあるのですが、その時に最初はPTAや地域の方が反対をされました。その理由は、校長先生たちがとても頑張っているので、私たちが口を出すべきではなく、コミュニティー学校などしなくても手伝うから大丈夫だというものでした。結果的には先生方が主体となって、地域の方も協力してやりましょうということになったのですが、それを見ていて本当に地域が成熟しており、こういう地域でこそコミュニティー学校はうまくいくのだろうと感じました。

私自身が府中町に永住しようと思って引っ越しをしました。それは色々な情報を基に判断をしたのですが、実感としてとても良かったと思っています。

本日は座長としていただいたのですが、皆さんがどんどん話を進めてくださり、私も学ばせていただいているだけで会が進行できました。ご協力ありがとうございました。本日の内容は、事務局の方でまとめていただければと思います。

6) 閉会

○座長（上之園委員）

以上をもちまして、本日の会議を閉会いたします。皆様ありがとうございました。

（午前11時37分閉会）